

国内開催の国際会議 セッション企画

平成 26 年 8 月 6 日

国際連携 WG 主査 天野

[目的]

- 欧州や米国における活動にも参画して積極的に情報発信を行うとともに、日本にも定常的な国際的議論の場を設けることにより、国際的な合意形成に主導的な役割を担う。
- 既存の研究機関を活用して、研究開発のための国際的に開かれた拠点を作り、研究開発の早い段階から海外の関係者と協働する環境を整備する。

[対象]

- 国際的に各分野をリードする研究者、設計者、行政官による議論の場を提供する。
- 研究開発計画で取り上げている主要テーマごとにセッションを企画し、研究受託者や関連分野で国際活動を推進する団体の参画を得て実施する。
- 会議は公開とし、聴衆として専門家を想定する。

[企画案]

会議名 Workshop on Connected and Automated Driving systems

～(SIP 自動走行システムの統一メッセージ)～

主催 総合科学技術・イノベーション会議

戦略的イノベーション創造プログラム

自動走行システム推進委員会、

日程 平成 26 年 11 月 17 日～18 日

場所 東京都内 会議施設（収容人員 300 人程度）

概要

- オープニング（主催者挨拶：総合科学技術・イノベーション会議代表）
- キーノート（各国・地域の自動走行プロジェクトから）
 - － SIP 自動走行システム 渡邊プログラム・ディレクター
 - － 欧州 Horizon 2020 自動運転プロジェクト代表
 - － 米国 Strategic Research Plan 米国連邦運輸省代表
- Session 1：走行環境のモデル化
 - － SIP 研究テーマ[I]- ①地図情報の高度化技術の開発の計画と中間成果
 - － ISO TC204/WG3 ITS database technology の関連活動状況
 - － 欧米の自動運転プロジェクトでの検討状況（企業からの報告も考慮）
- Session 2：通信による走行環境情報の取得
 - － SIP 研究テーマ[I]- ②ITS による先読み情報の生成技術の開発の計画と中間成果
 - － 車車・路車協調サービスの構成技術、性能基準、交換メッセージの国際調和
ISO TC204/WG14 Vehicle/roadway warning and control systems の関連活動状況
 - － 車車・路車協調サービスのための通信技術および実用化の国際動向
 - － VtoX（歩車間を含む）通信の技術と応用

資料 3-5-2-①

- Session 3：人と走行システムの関係

- SIP 研究テーマ [I]- ④ ドライバーモデルの生成技術の開発の計画と中間成果
- 自動運転（運転支援）技術の限界と走行シーンごとの運転行動の分析
- 人と走行システムの間での運転操作主体の推移と自動運転のレベル定義

- Session 4：自動運転技術による交通事故の抑止

- SIP 研究テーマ[II]交通事故死者低減・渋滞低減のための基盤技術の整備
 - ①交通事故死者低減見積り手法の開発と国家共有データベースの構築
 - ②ミクロ・マクロデータ解析とシミュレーション技術の開発の計画と中間成果
- SIP 研究テーマ[IV]-①地域マネジメントの高度化の総合的交通事故対策の考え方
- 米国連邦運輸省 Strategic Research Plan(2010-2014)-Safety Pilot の成果

- Session 5：自動走行による都市交通の革新

- SIP 研究テーマ[IV]-②次世代交通システムの開発の計画と中間成果
- 都市交通の課題（速達性、定時制、バリアフリー）分析と革新的マルチモード交通体系
- 欧州の歩行者中心の都市交通システム導入の理念と実際
- 自動運転技術と交通流制御の統合による次世代公共交通システム

運宮

- 研究開発計画の主要研究テーマの受託者、関連学術団体、業界団体、研究機関などに準備段階から参画いただき、セッション内容の企画、登壇者の招聘に協力いただく。
- 講演会型のセッションに加えて、研究受託者がパネルを展示し、個別の研究者と海外からの来場者との対話型議論の時間帯を設定する。
- SIP 研究開発に関連した機器やシミュレーションの実機展示を行う。(各 機+パネル 1 枚程度)
- テーマに関連したデモンストレーションや体験試乗も、上記関係者に協力を要請し実施する。
(詳細は関係者と別途協議)

以上